

整備事業評価書
(都道府県名:福岡県)

政策目的	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アイ	成果目標 の平均達 成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が事業 実施主体 へ改善指 導を必要と した地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
産地競争力の強化	2	0	2	81.2%	2	有	本県において本年度の事業評価の対象となったのは2地区であり、本県の平均達成率は81.2%であった。 福岡嘉穂農業協同組合の穀類乾燥調製貯蔵施設では、麦における下位等級指数の低減の目標については、栽培管理の徹底や適期収穫により目標を達成した。稲における高温耐性品種の作付割合拡大の目標については、作付誘導により高温耐性品種の作付面積は増加したものの、自家乾燥を行っていた農業者がCEへの出荷に切り替えたことで水稻全体の作付面積が増加したため未達成となった。今後は、当該農業者を含め一層の作付誘導を図り、高温耐性品種の作付割合を拡大させることで、高温障害による品質低下を抑制できるよう継続的に指導していく。 全国農業協同組合連合会福岡県本部の集出荷貯蔵施設では、対象品目の販売金額に占める契約取引の割合については目標を達成できたものの、対象品目の販売金額の目標は未達成となった。安定した出荷の確保と収支の改善に向けて、市町村など関係機関と連携しながら、新規就農者等担い手確保対策を継続するとともに、栽培技術の改善を図るよう指導していく。	県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し、81.2%であり、目標は達成されていない。 このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け、要因の分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成地区に対しては、県担当者による指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。 なお、福岡県が改善指導を必要とした地区(達成率90%未満)については、以下の2地区である。 <参考:成果目標未達成地区の概要> 【稲・麦】1地区 ・「高温耐性品種(元気つくし等)の作付割合拡大」及び「下位等級指数低下」を目標に、穀類乾燥調製貯蔵施設における荷受設備、搬送設備、調製設備、乾燥設備等を整備(機能向上)した1地区について、麦乾燥調製設備の機能向上等により麦の1等比率が向上したことで「下位等級指数低下」は目標を達成した。「高温耐性品種(元気つくし等)の作付割合拡大」については、高温耐性品種の作付けは増加しているが、新規利用者の増加により水稻面積も拡大しており、当該生産者の高温耐性品種への作付け誘導が進まなかったため目標未達成となった。 【野菜】(1地区) ・「販売額の増加」及び「契約取引割合の増加」を目標に、いちご・ブロッコリーの集出荷貯蔵施設を整備した1地区について、新規契約取引先の販売が好調に推移し、契約取引割合増加の目標は達成したが、ブロッコリーの定植遅れや春先の出荷集中による単価の下落、いちごの年内収穫量が低調であったことから、販売額増加の目標は未達成となった。

(注)1.「成果目標の平均達成率」欄は、要綱別紙様式5に記載された率について確認の上、転記する。

2.「都道府県による総合所見」欄は要綱別紙様式5に記載された内容を確認の上、転記する。